

■取組みの効果（定量的な数値）

【お客様と当社の生産性向上（改善できた内容）】

- ・**お客様**（従前は、段ボールを購入し作業による箱詰め作業が発生）
  - ①お客様の箱詰め作業時間（4名で約5H：延べ20H）→0.5H/日 90%削減
  - ②鉄カゴをリースすることにより、ダンボールの購入がなくなる（従前の段ボール購入代金 50千円）  
鉄カゴリース 1台 2,500円/3ヶ月×22台（1車当り）リース＝ 55千円 →費用負担が1車当り20千円減少
- ・**当社**（従前は、段ボールを集荷し、手積みて手卸しの作業が発生）
  - ①トラックへ手積みで積込（2H）や荷卸し作業（2H）→鉄カゴのフォークリフトによる作業 各0.5Hに短縮
  - ②乗務員の休憩時間を確保（0.5H）→3H確保（2024年問題の課題をクリア）

【収入効果額】8月収入実績（単位：千円）

当年実績	前年実績	前年差	前年比
1,680	919	+760	182.7%

※従前、混載貸切便にて輸送→貸切輸送に切り替えて1車当りの単価増

【獲得できたポイント】

- ・お客様：段ボールの輸送が当たり前であると認識で、効率的な輸送手段がわからない（お困り事）
- ・当社：混載事業で、他のお客様のあらゆる輸送手法を確認し、お客様の応じた最適な輸送提案を提供できる

⇒お客様に輸送商品の早さ（スピード）や値段だけ提案でなく、**お客様の全体の物流費の削減に目を向け、お客様に最適な輸送を提案**ができたこと。